高校 阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区
阪南町中一丁目
大阪府立阿倍野高等学校
新聞部
発行兼編集者
広瀬敦子

若人の情熱と意気こめて 体育の祭典終る

×　連日の曇天のため肌寒い十日、第七回記念祭の一つとして体育祭が新運動場において開催された。×　×　れ競技種目も多彩であつた。本年六月落成したばかりの新しい体育館を横に、往来に沿つて本部が設けられ広々とした運動場には若人の意気と熱が盛りあがつた。今年は学級対抗で行わ×　×　本校職員、自治会長などの審議の結果、第一位、二年五組、第二位、二年四組、三年三組と決定した。午後は予定時間よ×　×　り遅れ、食物競走、借物競走など赤間学校長も出場、終始軽快な雰囲気に包まれた。危ぶまれた天候も心配なくプログ×　×　ムはスムーズに進行、体操部の妙技に拍手を送り最後のクラス対抗リレーを迎えた。成績は学年で三年が断然優勝、一、×　×　二年生の得点も秀れていた。疲労も忘れ盛大だつた体育祭は無事四時半幕を閉じた。

【寫眞說明】　体育祭に集う若人千有餘　＝写真部提供＝

論説　無駄にするな　久保山さんの死

全国民の祈りもむなしく、ついに久保山さんは死んだ。わずか一握りの灰のために、貴い人命が奪われ去つたのである。放射能の前に苦闘をつづけながら、最後まで水爆反対を叫んだ久保山さんに一体、死に価する何の罪があつたというのか……。

原爆、更に水爆の被害を、恐しさを、身をもつて体験した最初の、唯一の国民、それはわれわれ日本人なのである。われわれは今こそ水爆反対、戦争反対を、声を大にして全世界の人々に呼びかけねばならない。いかに無力といえども真の平和は、力によつて代表されるべきものではなく、心の和合であり、戦によつて成立した勝者対敗者の中には、真の平和、真の幸福はないのである。われわれは日本人として、つき落された状態である。あらゆるものに放射能への恐怖の中にあつて、われわれの願う真の平和さまざまれ、いわゆる死の灰の合間に、真の平和は存し得ない。原子力は地理的にも、これと二間にはならない。原子兵器の存するところ、常に真実は何ものにもまさるものという信念のもとに……。

水爆の威力は今更ここに述べるまでもなく、それは人類を破滅に導くものにほかならない。現在の水爆製造、実験を行い、第三次大戦への危機は、とみにその激烈さを加えている。ところが、アメリカ側の云い分は、ソ連に対して、より以上に強力な水爆、あるいは軍備をもつことにより平和をもたらそうという。しかし、武力による平和というものはあり得ない。真の平和は、常に真実は何ものにもまさるものという信念のもとに……。

水爆の威力はさる事ながら、それは人類を破滅に導くものにほかならない。現在の水爆製造、実験を行い、第三次大戦への危機は、とみにその激烈さを加えている。ところが、アメリカ側の云い分は、ソ連に対して、より以上に強力な水爆、あるいは軍備をもつことにより平和をもたらそうという。しかし、武力による平和というものはあり得ない。ビキニの死の灰の事件は今や日本国民の、否、全世界の問題なのである。

最近、最も華やかに行われている反対運動といえば署名運動であろう。しかし、これもただ単なる〝署名する〟ことのみによつて事足れりとしているのではないだろうか。又、岡崎外相並びに日本政府は、水爆実験には協力せねばならぬとはつきり言したではないか。いかに無力といえども真の平和は、力によつて代表されるべきものではなく、心の和合であり、戦によつて成立した勝者対敗者の中には、真の平和、真の幸福はないのである。われわれは日本人として、つき落された状態である。あらゆるものに放射能への恐怖の中にあつて、われわれの願う真の平和さまざまれ、いわゆる死の灰の合間に、真の平和は存し得ない。原子力は地理的にも、これと二間にはならない。原子兵器の存するところ

とにかくあがってしまって
欲しい教生に対する理解

★……本校の年中行事の一つとなっている教生の教育実習が四日から八日までの五日……★

★……間にわたって行われたが、新聞部ではその最後の日、五日間の務めを無事果し……★

★……た大阪女子大の教生の方に集まっていただき、きのうまでは生徒としての、そ……★

★……してきようは先生の立場と、阿倍高一週間の印象をつぶさに語っていただいた……★

座談会
阿倍高一週間の印象

司　先ず阿倍高生の印象

A　態度言葉使いなど一般に好感が持てますね。背広の制服はセーラ服と異った可愛らしさがあります。

D　朝礼の際〝脱帽〟〝礼〟などで言葉を何年振りかで聞き、いささか驚きました。秩序は正しいがそうした規律の中での生活というものは、何か抑制されているという感じを受けましたけれど、生徒はどう思っていますか。

B　〝野次ってやれ〟という感じがあって最初から覚悟していましたね。そしてネ。帰る時、二階から〝うわあ〟という声があって困ちゃったワ。でもそれも親しさからかも知れないけれども…（笑）

G　自分の実力というものには全く自信が持てなくて時間の浪費に責任を感じました。

A　講義をしていてもこんなことは解っているだろうと思って一応看過しても後で反省したりあれもこれもと、とに角あがってしまってネ。

D　それに三年生のクラスへゆくと交換の話を始めると一斉に鉛筆が動きだして、受験勉強から一歩も離れることの出来ない気持がはっきりと感じられ本当にいじらしくなりました。

司　ええそれで、私達は授業の内容とか程度とかいうものよりもその気分的雰囲気を楽しくしたかったのです。勿論三年生にとって受験というものは頭から離れることはないのですが、またある一面いるところがあってもよいのになくなったということである。これは後になってわかったことであるが、厳氏はその時、人柱となることを覚悟していたということである。このことを知った推古天皇は橋の畔に弧雲山仏生院大願寺という寺を建立された。

▽……人柱となって厳氏できあと残された娘の照日は河内に嫁いだが、父はものをいった為に長柄の人柱になったのであるからと一切ものをいわぬことを決めたが、その為に実家に帰らさせられることになった。そこで夫は弓矢を持って妻と里方に向うが、途中、松上で雉子が鳴いたので、すぐにこれを射止めた。これをみた照日は

物いわじ父は長柄の人柱
雉子もなかずば射たれざらまし

と詠み、世の無情を嘆いたという。そして照日は山崎宝寺の辺に庵室をむすび〝物いわぬ尼〟となった。

▽……国鉄東淀川―吹田間になは、いくら文明の発達した二十世紀の文化人であっても、とうてい理解できないものがあるのであろう。水のために世を去った厳氏を讃える石碑の周囲には水が満々と

―写真は東淀川区大願寺附近にある厳氏の碑―

郷土いまはむかし
雉子もなかずば……
厳氏の碑を訪ねて

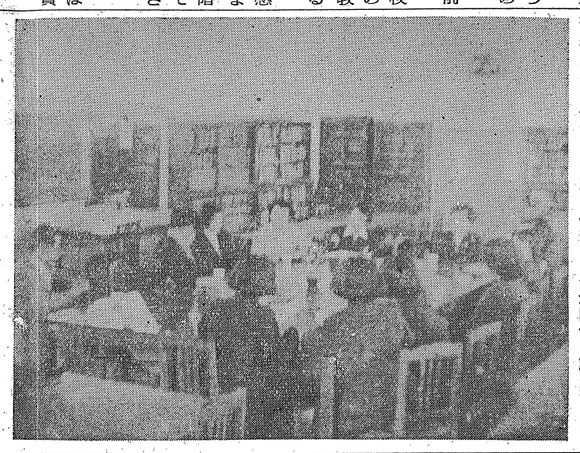
物いわじ父は長柄の人柱
雉子もなかずば射たれざらまし

▽……今から千三百年位昔のことゝ淀川沿いの摂津の国長柄では大和東海に通じる唯一つの街道として人馬往来激しく、重要な交通路となっていたが、ひとたび雨が降ると濁流と化し、橋はことごとく流されて、住民の雨に対する恐怖は大きかった。その年も橋は全部流され、水の引いたあと、村民の間に流されないような大きな橋を作ろうとの相談が持ち上った。その折、自分の全財産を投げ出してもと賛成したのは長者厳我の厳氏であった。そして厳氏は「昔から橋の下に生きながらにして人を人柱にして埋めれば、その人の霊が橋に宿って橋は流されなくなると聞いているが、今度それをやろうではないか」と相談を持ちかけた。それを聞いた村人は「それはいい考えだ。しかし誰が人柱になるのか……」

「橋を守ってもらうのであるから、きよう集った人の中で最も徳や身分のある人がいいだろう」というわけで、結局、最初にいいだした厳氏が人柱になり、厳氏は法華経を読じつつ橋杭の下深く土柱に埋められていったのである。

このようにして今はなき長柄の大橋が出来上り、それ以後、大水は

上手に使え〝トラの巻〟
衛生的に改善の余地あり

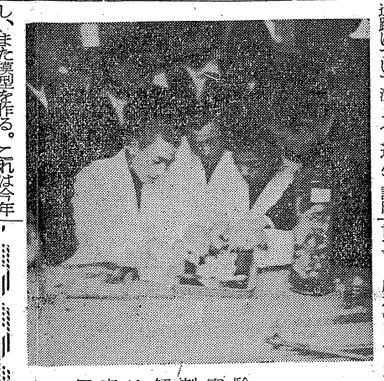


司　何分にも学校側のやっていますることなので……。

B　三年生の模擬試験ベストテンに女子が入っていないというのはどういう理由ですか。一年生の実力考査は、女子が秀れていましたけれども。

司　三年生になると進学の影響をうけて男子が女子をオーバーするのでしょうネ。

D　衛生的に改善する面があり中の一軒家に「与べう」という男……いつの頃か、或る雪深い野の



―写真は解剖実験をする生物部員―

C　あの座席は変ですヨ。男子と女子がはっきりと分れているでしょ。共学の性質としてもまたクラス全体としてもどうかと思いますね。

B　ささいな問題ですが出席簿の名列でも、わざわざ女子と男子を分ける必要はないと思うんですまた分けるにしても男子を先にするというのはどういうことでしょう。一クラスでも女子を先にしてよいのに

D　衛生的に改善する面があり中の一軒家に「与べう」という男

C　やだなあ。

G　自治会役員選挙のときも男子を頼もしく思うのは当然ですがいたずらに頼もしがるのでは学生生活の改善向上は望めませんヨ。

E　とに角あらゆる点において〝女子の人達もっと頑張って下さい〟とお願いします。

F　もう少し〝トラの巻〟の使い方を上手に考えるべきヨ（笑）

司　本校の男女共学は勉強につついるでしょうか。

B　自治会の女子の役員はどれ位ありますか。

司　それが、今期も副会長、書記に一名ずつ立候補者があったのですが惜しくも落選されて男子ばかりなんです。

E　自治会の役員に女子がいないということは女子の人達がもっと自覚して自分達の意見を反映させるためにも頑張らねばならないはずです。

C　女子がもっと活動しなくちゃだめネ